

実務実習計画書

【病院施設情報】

施設名称	日本医科大学多摩永山病院
所在地	〒206-8512 東京都多摩市永山1-7-1
公共機関最寄りからのアクセス	
「小田急多摩線：小田急永山駅」「京王相模原線：京王永山駅」	
TEL	042-371-2111（内線PHS：3431）
E-mail	naga-jitumu.group@nms.ac.jp

【実習指導体制】

薬剤師人数（レジデント）	28（1）
責任薬剤師	渡辺 圭
認定実務実習指導薬剤師	林 太祐・菅谷 量俊・他2名
実習施設での具体的な実習内容とスケジュール	
調剤室、注射室、DI室、院内研究（配合変化）：各1週間	
外来化学療法室、手術室、医薬品管理室：各3日前後の見学	
病棟実習：7週間前後	
スケジュール詳細は初日に配布予定	

実習項目	実習内容
病院実習の導入 （0.5週間）	●病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ●臨床における心構えを身につけ、安全管理に十分配慮する
医薬品の調製 （2週間）	●処方箋に基づく調剤および疑義照会を行う（注射薬含む） ●注射剤の無菌操作、抗がん剤のケミカルハザード回避の手技を実践する
医薬品管理 （0.5週間）	●適切な医薬品の供給と管理を実践する ●薬物療法に対する問い合わせに対し、根拠に基づいた報告書を作成する
院内研究 （1週間）	●配合変化に必要な情報の収集と研究を実践する ●研究に必要な薬剤の調製する
病棟業務 （7週間）	●院内の医療チーム活動に薬剤師としての立場で参加し、多職種と連携して患者の治療目標などを考える ●新規入院患者から薬物治療評価に必要な情報を収集する ●持参薬について、同効薬の効果も比較しながら継続可否の判断を実施する ●患者情報と臨床検査データから、患者の有する医学的・薬学的問題点を挙げ、医薬品の重複投与や未治療の問題点を把握する ●入院治療のゴールと退院後も含めた長期プランの立案する ●ガイドラインや適切な三次資料を参考に根拠に基づく薬物治療法を選択する ●必要に応じて、Clinical Questionに対する最新の臨床試験成績を検索し、治療に還元する ●入院中に生じる治療上の問題点をチーム医療の一員として他の医療スタッフと共有し、薬剤師の視点から解決策を提案する ●TDM対象薬の血中濃度測定値を適切に評価し、再投与設計を行う ●処方薬の薬効と副作用を、適切な評価指標に注目して、継続的にモニタリングする ●チーム医療として、栄養（NST）、褥瘡、感染（ICT）、緩和（PCT）等の回診に同行し、薬剤師の役割を理解する ●S・O・A・Pの各要素を認識したうえで薬剤管理指導の内容を記録する